

TENGA展

TENGA 3D MUSEUM OF ART

2011.8.4 THU - 8.7 SUN 11:00 - 21:00

『TENGA 3D』を支援するアーティスト・プロジェクト

TENGAの最新兵器ともいべき3Dとはいかなるものか。その貌があきらかになったときの驚愕。これはまるで究極のフィジカル・プロダクツだ。過激にして繊細、造形的にして機能的、ファッショナブルにしてリーズナブルな3D。これを支援するアーティスト集団をイメージするのは訳なかった。エロティックでポリティカルな人、ロマンティストでリアリストな人、ナイーブでラディカルな人、先駆的で普遍的な人・・・そんな人いないか。いや、少数派かも知れないがいる。そんな人が今回の「TENGA展」にラインナップしてくれた。アーティストは、荒木経惟、椿昇、角浩之、高橋啓祐のインターナショナルな4人。アラキーの被写体に手を挙げてくれたのが、内田春菊、伊藤キム、千葉麗子、辛酸なめ子、ヴィヴィアン佐藤のカルチュラルな5人。そしてパフォーマンスに矢内原美邦と、ニブロールが参加してくれる。抑え難いデザイナーをデリケートにフィニッシュさせるのは、3Dもアーティストも同じだ。

アーティスト・キュレーター 榎本了亮

TENGA 3D
NEW CONCEPT HOLE